
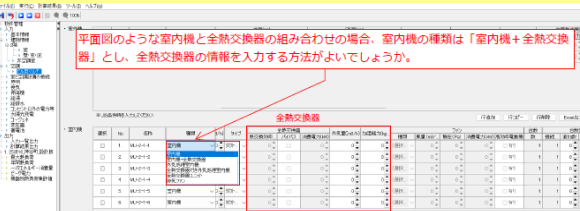
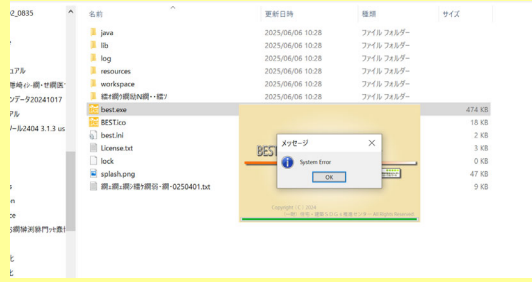


## BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1~26/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
1	設計ツール 3.1.5	2025/4/9	昨年度、設計ツール2410 3.1.4を利用していたのですが、今年度再契約をし、BEST設計ツール2504 3.1.5 を利用しています。設計ツール2410 3.1.4で作成したBestファイルをエクスポートしておらず、設計ツール2410 3.1.4にはログインできなくなっているため、データを取り出せません。Bestファイルを取り出すor読み込む方法は無いでしょうか。	2025/4/9	1台のPCで1ライセンスを使用します。また、設計ツール2410 3.1.4も、同じようにユーザーIDとパスワードにて認証することで、起動できます。
2	-	2025/4/14	下記2点についてご回答いただけませんか。 ・BESTを使用することにより国外(例:インドネシア)の建築物のエネルギー性能を評価することが可能でしょうか。 ・可能な場合、具体的な手順をご教示いただけませんか。(例:設計ツールを使用するが、気候条件等を設定し、かつ基準仕様を設定する必要がある等)  以上、よろしくお願いいたします。	2025/4/14	BEST設計ツールにて、国外の気象データ(EPW)を使用した計算が可能です。 設計ツールの場合は、EPW形式の気象データを設定するだけで、一次エネルギーの設計値の計算が可能です。基準計算(ベースライン)の機能は使用できませんが、国外での基準仕様を入力した計算すれば、基準仕様でのエネルギー計算が可能です。 また、最大熱負荷計算や年間熱負荷計算を行う場合は、WEADAC気象データを別途用意((株)気象データシステムより購入)する必要があります。  気象データの設定方法は、下記URLの「BEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月版)」p37をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a>
3	設計ツール 3.1.3	2025/5/21	BEST設計版におけるパッケージスプリット型の室内機の登録において、全熱交換器1台が複数の室内機に接続してSOAを供給している場合の適切な設定方法を伺いたいです。添付PDFの例のように全熱交換器1台が室内機4台と接続しています。このように全熱交換器が複数室内機に送風する接続形式の場合、室内機の種類を「室内機+全熱交換機」とし、全熱交換器の情報を入力することで反映されるのでしょうか。「室内機+全熱交換器」は全熱交換器が複数室内機に送風するものを意味していますでしょうか。設定可能な方法をご教示いただけますと幸いです。 《ご使用環境》 ご使用のOS = windows ご使用のOSバージョン = 11 BESTの種類 = 設計版 BESTのバージョン = 240.3.1.3  	2025/5/22	BEST設計ツールの「室内機+全熱交換器」は、1台の室内機と1台の全熱交換器が接続されているイメージとなります。全熱交換器1台が複数の室内機に接続している場合は、全熱交換器の入力部分を工夫してください。例えば、全熱交換器の消費電力、外気量、加湿能力を1/4としてそれぞれに入力する方法が考えられます。 また、現在の最新版はVer3.1.5となっておりますので、そちらをお使いください。
4	設計ツール	2025/6/3	BEST設計ツールについて教えてください。 結果出力に関して、年間の一次エネルギー消費量や電力消費量の時系列グラフが、出力されますが、こちらのCSVデータの取り出しはできないでしょうか？	2025/6/3	年間の一次エネルギー消費量は、計算結果出力画面にて、Excel形式で出力することが可能です。 下記URLのBEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月版)の[3.8.2 計算結果の出力]p218~をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a>  電力消費量の時系列の値は、計算実行画面の一次エネルギー消費量にある「詳細データを保存する」にチェックを入れて計算を行うことで、結果を保存することが出来ます。 結果は、下記の[detail-res]フォルダ内に保管されます。 [BEST設計ツールセットアップのフォルダ]→workspace→detail-res  例えば、「ENERGY 用途別1次エネルギー消費量_消費 電力」という項目は、建物全体の電力消費量[W](2次エネルギー)を表しています。  参考として、BEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月版)の[2.4.2 計算実行(詳細データ保存)] p196~をご覧ください。
5	省エネ基準対応ツール	2025/6/6	BEST省エネ基準対応ツール2504.3.1.5をダウンロードしましたが、System Error が表示されて上手く起動できません。	2025/6/6	状況を確認するため、エラー画面のキャプチャとログを送付ください。

## BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1～26/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
6	省エネ基準 対応ツール	2025/6/6	<p>★25/6/6お問い合わせの続き</p> <p>エラー画面のキャプチャとログを送付致します。</p> 	2025/6/6	<p>解凍したファイルが文字化けしてるようです。 windows標準の解凍機能で解凍してみてください。</p>
7	設計ツール 3.1.4	2025/7/25	<p>BM室内機の「外気処理室内機」について不具合と思われる計算結果がありましたので、確認をお願いします。</p> <p>・「外気処理室内機」のある室外機に「EHP_ビルマルチ_水冷冷暖切替」又は「EHP_ビルマルチ_水冷冷暖切替」を選択すると冷房運転の一次エネルギーが計算されない。暖房運転は計算される。</p> <p>※「全熱交換器付外気処理室内機」では、冷暖計算されるので、とりあえず、全熱交換効率=0%として対処しています。</p> <p>・室外機に空冷の室外機を選択した場合は、冷暖とも計算されるようです。</p> <p>以上、お忙しいところ申し訳ありませんが、宜しくお願いいたします。</p> <p>○ご使用中のプログラムに関するお問い合わせ &gt;&gt;</p> <hr/> <p>《ご使用環境》 ご使用のOS = Windows 11 Enterprise ご使用のOSバージョン = 24H2 BESTの種類 = BEST設計ツール 2504 3.1.5</p>	2025/7/28	<p>原因について確認いたしました。</p> <p>外気処理タイプの室内機では、冷房可能な外気条件(温度・湿度)をチェックしています。</p> <p>水冷タイプの室外機では、外気情報が取得できないため、外気温度が「0°CDB」として処理され、冷房条件の下限(19°CDB)を下回ると判断され、冷房運転が不可となっていました。</p> <p>チェック条件(冷房時): 外気乾球温度 &lt; 19°CDB 外気乾球温度 &gt; 43°CDB 外気相対湿度 &lt; 30%RH 外気相対湿度 &gt; 90%RH</p> <p>BM室内機が外気処理タイプの場合、室外機からの外気情報ではなく、室内機の外気接続ノードの状態値を使用して冷房可否のチェックを行うように処理を変更する予定です。</p> <p>これにより、水冷タイプの室外機と接続した場合でも、冷房運転の一次エネルギーが正しく計算されるようになります。</p>
8	設計ツール 3.1.4	2025/7/1	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 3.1.4</p> <p>建築 = 有 空調 = 有 電気 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 計算結果の一次エネルギー消費量に関する質問です。</p> <p>計算結果の「1㎡あたりの月別エネルギー消費量(MJ/㎡・月)」に「計算面積(㎡)」を掛け算したところ、同計算結果の「建物全体の月別エネルギー消費量(MJ/月)」の数値と合致しませんでした。</p> <p>これは理論上合わなくて妥当でしょうか？</p> <p>例えば、過去講習会の2023年の第1回(省エネ設計・申請)内(3)BEST省エネ基準対応ツールの取り扱い説明、例題データ「Aビル(事務所20000㎡)」の場合、計算結果は以下のようになりました。(計算は設計ツールで実施)</p> <p>「1㎡あたりの月別エネルギー消費量(MJ/㎡・月)」×「計算面積(㎡)」 = 909.01 × 14041.44 = 12763809.37 ≠ 18180175.35 … 「建物全体の月別エネルギー消費量(MJ/月)」</p> <p>また、何のパラメータが作用しているか、や、理論上、差が何%程度出るなどの知見がもしございましたら、ご教示いただけると幸いです。</p> <p>(実践時の計算結果の妥当性確認のため)</p> <p>素人質問で大変恐縮ですが、何卒よろしくお願いいたします。</p>	2025/7/7	<p>計算結果の「1㎡あたりの月別エネルギー消費量(MJ/㎡・月)」に、入力値である「床面積(㎡)」を掛け算することで、「建物全体の月別エネルギー消費量(MJ/月)」の数値となります。但し、プログラム上の丸め誤差が生じる場合があります。</p> <p>「計算面積(㎡)」は参考値です。</p> <p>下記URLの「BEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月版/220頁/約11MB)」 「1.2.1 地域区分・建物用途・延床面積」p37をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a> また、最新版はVer.3.1.5ですので、そちらをご利用ください。</p>
9	設計ツール 3.1.4	2025/7/9	<p>★25/7/1お問い合わせの続き</p> <p>この度はお忙しい中ご返信いただきありがとうございます。</p> <p>「床面積(㎡)」がパラメータとのこと理解いたしました。</p> <p>また最新版はVer.3.1.5とのことで、バージョンアップをしたいのですが、方法がわからず、ご教示いただくことは可能でしょうか？</p> <p>度々お手数をおかけしますが、何卒よろしくお願いいたします。</p>	2025/7/10	<p>下記のURLにてログインして最新のセットアップは入手可能です。 <a href="https://best-auth.com/">https://best-auth.com/</a></p>

## BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1~26/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
10	設計ツール 3.1.4	2025/7/28	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 3.1.5</p> <p>建築 = 有 空調 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 現在BEST計算ツールにて空調熱源本体の計算電力値と実測電力値の比較(計算値では「空調熱源本体_電力」の値を参照)を行っているのですが、数倍程度の乖離がみられる状況のため、下記4事項が計算に考慮されているかいないかが要因では、と考えております。 大変お手数ですが、下記4事項が計算に考慮されているかいないかをご教示いただくことは可能でしょうか？ 実測の電力量との乖離はある程度仕方のないものと考えておりますが、何卒よろしくお願いたします。</p> <p>----- 【熱負荷予測乖離要素】 ・外皮蓄熱量 ・天候情報(温湿度以外の晴れ、曇り、雨等)</p> <p>----- 【機器消費電力予測乖離要素】 ・潜熱、顕熱を分離計算しているか ・機器の部分負荷特性を考慮しているか(熱負荷に応じてCOPが変化することを考慮しているか)</p> <p>-----</p>	2025/7/29	<p>全て考慮しております。 詳しくは、下記URLの「C_建築操作マニュアル」や「M_機器特性マニュアル」をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#specialty">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#specialty</a></p>
11	設計ツール	2025/7/30	<p>以下、2点ご教示頂きたいです。参考に画面キャプチャを添付致します。</p> <p>概要: ①.bestのデータを読み込んだ際に、運転スケジュールを取得できない。 ②共通へコピーの項目がない</p> <p>内容: ① 特定のPCにて運転スケジュールを追加し →.bestデータをエクスポートし →他のPCにて.bestデータをインポートした際に、運転スケジュールがデフォルトのままとなっています。 ※マニュアルには、以下のように記載されています。 「インポートデータには、ユーザーの作成した外壁や屋根等の部材データ、室用途別スケジュールや運転スケジュールデータ、物件で最後に計算した気象データも含まれます。」 現状では、運転スケジュールが.bestデータではなく、PCに紐づいているように思われます。</p> <p>② ①に関連するかわかりませんが、共通へコピーの項目が表示されていません。 こちらの機能で①が解決するということでしたら合わせてお聞きしたいです。</p>	2025/8/18	<p>ご使用中のBESTに関するお問い合わせにつきましては、下記URLよりお問い合わせください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/contact02/contact_frm.php">https://www.ibecs.or.jp/best/contact02/contact_frm.php</a></p> <p>①最初のPCで運転スケジュールを追加した場合は、その物件データを他のPCにインポートした際にも、追加した運転スケジュールが設定されているはずですが。</p> <p>最初のPCで「共通-スケジュール編集」画面にて運転スケジュールを作成したものについては、他のPCにインポートした際に、「物件-スケジュール編集」画面に追加されていますのでご注意ください。</p> <p>「共通-スケジュール編集」で作成した運転スケジュールは、同じセットアップ内の他の物件データでも使用できるスケジュールです。 「物件-スケジュール編集」で作成した運転スケジュールは、その物件だけで使用できるスケジュールです。</p> <p>②共通へのコピーは、「物件-スケジュール編集」画面にのみ表示されません。</p>
12	設計ツール、 専門版	2025/8/14	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 専門版 BESTのバージョン = 2504</p> <p>建築 = 有 空調 = 有 電気 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 設計ツールから専門版へデータ移行をしたく、「B_020_BEST共通操作_20250523.doc」 (<a href="https://www.ibecs.or.jp/best/files/tec_info/B_020_BEST_com_mon_20250523.pdf">https://www.ibecs.or.jp/best/files/tec_info/B_020_BEST_com_mon_20250523.pdf</a>)のP17~P19を見ながら、設計ツールで計算したSimulationファイルを専門版にインポートしたところ、P19にあるように「建築」-「ゾーン設定」が反映されず、計算実行時に「** error (code:1) ** ゾーンデータxmlファイルのパスが未定義です」というエラーがでました。</p> <p>過去の講習会例題データ((5)設計ツールを使用して省エネ検討を体験しよう-標準仕様)を設計ツールで計算ののち、専門版にインポートしても同じく未反映・エラーがでしまう状況でした。</p> <p>もし何か要因をご存じでしたらご教示いただけますと幸いです。 お手数をおかけしますが何卒よろしくお願いたします。</p>	2025/8/18	<p>設計ツールから専門版へデータ移行する場合は、BEST設計ツールのエンジンデータ出力機能をお使いください。 下記URLのBEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月版)p34~「1.1.5 エンジンデータ出力」に手順を記載しております。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p>

## BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1~26/3/31)

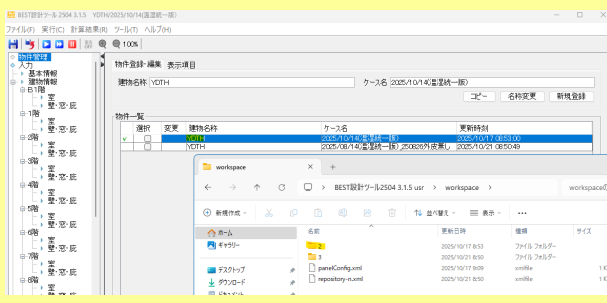
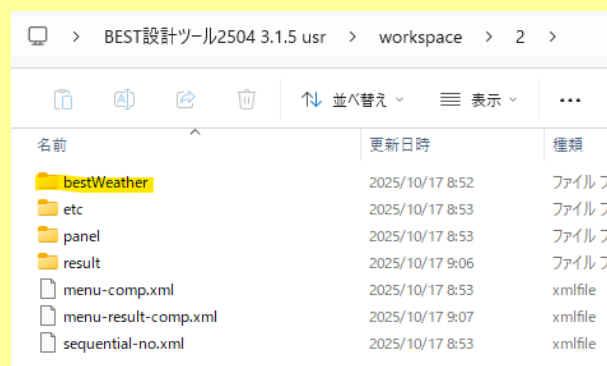
No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
13	設計ツール v3.1.5	2025/8/18	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 設計ツール2504 3.1.5</p> <p>建築 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 気象データについて 拡張メダスを使用したく考えております。</p> <p>建築地 香川県高松市</p> <p>デフォルトにはデータが無い為、拡張メダス気象データ(標準年2020年版)のDVDを購入を検討しております。</p> <p>MetDS株式会社のHP <a href="https://metds.co.jp/product/ea/eadata/">https://metds.co.jp/product/ea/eadata/</a> 上記に記載がある、EA気象データ 新版WEA2 標準年EA気象データ 2020年版 38,500円</p> <p>こちらを購入する形で問題ないでしょうか。</p>	2025/8/18	<p>設計ツール2504 3.1.5は、EA気象データ 新版WEA2 標準年EA気象データ 2020年版のDVD読み込みが可能です。 そちらのDVDで問題ございません。 対応状況につきましては、下記URLの「BESTユーザー登録のご案内(令和7年4月改定)※令和7年4月1日より適用」p4「(2) 各種BESTの仕様・作動環境・作動条件」「④ その他関連事項」にも記載がございますので、こちらをご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/user_entry.html#user_entry">https://www.ibecs.or.jp/best/user_entry.html#user_entry</a></p>
14	BEST設計ツールv3.1.5	2025/8/19	<p>《ご使用環境》 ご使用のOS = Windows 11 Enterprise ご使用のOSバージョン = 24H2 BESTの種類 = BEST設計ツール 2504 3.1.5</p> <p>BESTのバージョン = 3.1.5(BEST設計ツール)</p> <p>表記の件、最初の月の計算結果には、その前の助走計算結果が加算されているようです。 計算結果出力による一次エネルギー消費量のデータでは上記の修正ができない為、best_result.csvより算出しています。</p> <p>ご確認と やはり問題があれば修正をお願い致します。</p> <p>以上、お忙しいところ申し訳ありませんが、宜しくお願いいたします。</p>	2025/8/21	<p>結果表示の不具合について確認いたしました。ご指摘ありがとうございます。 お手数ですが、best_result.csvより算出するか、年間計算にてご対応お願いできますでしょうか。 今回のリリースにて修正いたします。</p>
15	設計ツール 3.1.5	2025/8/26	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 設計ツール2504 3.1.5</p> <p>建築 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 外気負荷について教えてください。</p> <p>各室の最大の外気負荷については出力ができるのですが、各室、1時間ごとの外気負荷の出力方法がわからず、教えてください。</p> <p>現状は、建物情報のみを入力しており、設備関係は入力しておりません。 (設備入力の予定は無し)</p> <p>ソフトとして出力に対応していない場合、出力されたエクセルデータから、算出したいのですが可能でしょうか。</p>	2025/8/27	<p>外気負荷として表示している数値は、装置負荷-(マイナス)室負荷として算出しております。 計算結果出力画面にて、最大熱負荷出力の出力項目の詳細にチェックを入れて[最大熱負荷計算結果.xlsx]を出力すると、「最大熱負荷計算_詳細」のタブに各室の5分間隔の装置負荷と室負荷は出力されますので、こちらを使って算出してください。 下記URLの「BEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月版)」「3.8.2 計算結果の出力」p218をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p>

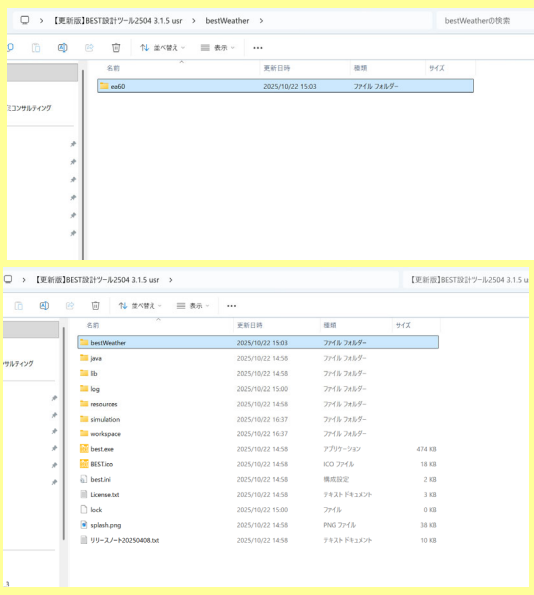
## BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1~26/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
16	設計ツール 3.1.5	2025/9/8	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 設計ツール:3.1.5</p> <p>建築 = 有 空調 = 有 衛生 = 有 電気 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = お世話になっております。 WEB認証についてお伺いします。</p> <p>BESTのWEB認証サーバーに接続できるPCとできないPCがあり 困っております。 OSはどちらもWindows11,64ビット版です。</p> <p>ノートパソコン:動作する Windows11 Pro 24H2 デスクトップパソコン:動作しない Windows11 Home 24Hw</p> <p>その他大きな違いは特になく、原因がわかりません。 心当たり、類似の事例等がありましたらご教示いただけますと 幸いです。 以上、よろしくお願いたします。</p>	2025/9/16	<p>こちら側では原因の特定ができません。 お手数をおかけいたしますが、ネットワークの設定について社内の情報シ ステムご担当者様にご確認いただけますでしょうか。 なお、使用可否につきましては、以下のWEB認証サーバー接続検証ツ ールにてご確認いただくこととなっております。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/user_entry.html">https://www.ibecs.or.jp/best/user_entry.html</a> ご利用の際は、動作確認済みのPCにてお試しください。お願い 申し上げます。</p>
17	設計ツール 3.1.4	2025/9/24	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 2504.3.1.4</p> <p>建築 = 有 空調 = 有 蓄熱システム = 有 その他 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 現在、設計ツールを使用しているの ですが、設備でクローズドループ型地中熱利用システムを使用し たいのですが、それはアカデミックユーザーは使用できないの でしょうか？また使用を方法を教えて欲しいです。</p>	2025/9/24	<p>アカデミックユーザーでも使用可能です。 Ver.3.1.5より機能追加されておりますので、こちらのセットアップをダウン ロードしてご利用ください。 使用方法は、下記URLの「BEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月 版)」「1.4.1.9 セントラル/熱源・二次ポンプ の熱源/水熱源ヒートポンプチ ャー」p108-111をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p>
18	設計ツール 3.1.5、専門版 2504	2025/10/9	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 専門版 BESTのバージョン = 専門版2504、設計ツール3.1.5</p> <p>建築 = 有 空調 = 有 電気 = 有 蓄熱システム = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 事象:設計ツールで計算した結果を専門 版にインポートしようとしたのですが、うまくできません。 エンジンフォーマットデータ取込画面で、simulation.zipを参照す るところまでは問題なくできたのですが、窓にリストが表示され ず、取り込みの実行ができなくなりました。 同データで入力初期に試したときにはできたのですが、入力を 進めて重くなったためでしょうか。 専門版で詳細検討ができればと考えています。インポートの対 処方法があれば教えてください。</p>	2025/10/9	<p>BEST設計ツールに、エンジンデータを直接出力する機能が出来ました。 こちらの機能で出力したエンジンデータにて、インポートして頂けます でしょうか。 詳しくは、下記URLの「BEST設計ツール解説書 2025年4月版」「1.1.5 エ ンジンデータ出力」p34~をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p>

## BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1~26/3/31)

No.	利用Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
19	設計ツール 3.1.5	2025/10/15	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 設計ツール25043.1.5</p> <p>建築 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = お世話になっております。 建物情報のみを入力し(設備未入力)計算実行しようとすると、エラーとなります、対応策をご教示いただきたいです。</p> <p>①気象は6地域にて計算をしています。 →問題なく計算完了</p> <p>②気象は、拡張アメダスDVDの高松データで計算実行 →計算エラーが発生しました。とポップがでて、元の画面に戻ってしまいます。</p> <p>気象を変更すると計算実行ができなくなってしまうです。</p> <p>操作編マニュアルの44P記載のDAC9120_836.hasHのデータがうまく入っていないのではと思っております。</p> <p>電話にて操作法を教えていただけますと助かります。</p> <p>何卒よろしくお願いいたします</p>	2025/10/16	<p>下記URLの「BEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月版)」「1.2.2 気象データの取込み」p42の操作は問題なく終了したという事で宜しいでしょうか。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a> 拡張アメダス標準年気象データ(2020年版)のDVDのみ読み込みが可能です。</p> <p>操作編マニュアルの44P記載のDAC9120_836.hasHのデータは、設計用気象データです。DVDで読み込む標準年データとは別物で、「最大熱負荷計算」に使用します。 お電話での対応は行っておりませんので予めご了承ください。 確認いたしますので、計算エラーとなる物件データ.bestとlogフォルダ内のログファイル(BestLogging0.log)を送付ください。</p>
20	設計ツール 3.1.5	2025/10/20	<p>★25/10/15お問い合わせの続き p42の読み込みの操作は完了しているはずですが。 通常ですと、気象データの取込みのみをすればよいのでしょうか？</p> <p>.bestと.logをお送りいたします。 ご確認いただけますと幸いです。</p> <p>何卒よろしくお願いいたします。</p>	2025/10/20	<p>原因確認いたしました。 お手数ですが、最新のBEST設計ツール2504 3.1.5 user.zip(2025/5/21更新)を再度ダウンロード頂き、こちらをお使いいただけますでしょうか。 (バージョン名は同じですが、設計用気象データの不具合修正済みのバージョンとなっております。) 物件データも、気象データ部分を修正したものを添付いたしますので、こちらをお使いください。</p>
21	設計ツール 3.1.5	2025/10/20	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 設計ツール3.1.5</p> <p>建築 = 有 空調 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 窓の日射熱取得率を出力することは可能でしょうか。 可能な場合、出し方をご教示いただけますと幸いです。</p> <p>お忙しいところ恐れ入りますが、よろしくお願いいたします。</p>	2025/10/22	<p>窓の日射熱取得率は、[入力一覧出力]機能にてExcel出力することが可能です。 フロア(〇階)というシートに出力されます。 詳細は、下記URLのBEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月版)「3.8.1 入力一覧出力」p216~をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p>


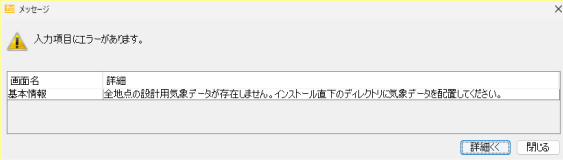
No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
22	設計ツール 3.1.5	2025/10/21	<p>★25/10/20お問い合わせの続き ご連絡ありがとうございます。 2点教えてください。</p> <p>■.bestデータについて お送りいただいた『相談データ(修正).best』については、インポートでの読み込みで良いのでしょうか。 また、お送りした時よりもデータの容量が小さくなっているのは問題ないでしょうか。</p> <p>■もう一つのデータについて お送りしていたデータと、もう一つのデータの比較をする予定となっております。 もう一つのデータも修正をお願いできますでしょうか。 本メール最後にURLを添付します。 また、今後他のデータの出力では修正頂く必要はございませんでしょうか。 ※もしくは、ソフトのバージョンを上げたらお送りいただいたデータの読み込みも不要でしょうか？</p> <p>お手数おかけいたしますが、ご確認よろしく願いたします。</p> <p>以下のURLからファイルをダウンロードできます: <a href="https://download.transfer.henнге.com/QOFdaYo7HG61lw">https://download.transfer.henнге.com/QOFdaYo7HG61lw</a></p>	2025/10/21	<p>■『相談データ(修正).best』について インポート機能で読み込んでいただければ問題ありません。 なお、結果データが含まれていないため、ファイル容量は小さくなっています。</p> <p>■修正データのご案内 修正済みのデータを添付いたします。 今回の不具合の原因は、[高松]の設計用気象データにありました。 一度計算を実行すると、不具合のある気象データが物件データ内に保持されてしまうため、手動での削除が必要となります。 お手数ですが、該当の物件データを削除したうえで、バージョンアップ後のソフトにて再度計算をお願いいたします。</p> <p>■手動削除の方法 workspace フォルダ内にある、該当物件のフォルダ(例:下図では「2」)に含まれる bestWeather フォルダを削除してください。 ※物件フォルダ名は、repository-n.xml を開いていただくことで、building id により確認できます。</p>  <pre> 1 &lt;?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" standalone="yes" ?&gt; 2 &lt;repository xmlns="http://jp.or.ibec.best/client/gui/common/element"&gt; 3   &lt;building id="2"&gt; 4     &lt;sort&gt;1&lt;/sort&gt; 5     &lt;name&gt;YDTH&lt;/name&gt; 6     &lt;case&gt;2025/10/14(温湿統一版)&lt;/case&gt; 7     &lt;version&gt;3.1.5&lt;/version&gt; 8     &lt;lastUpdateDate&gt;2025/10/17 08:53:00&lt;/lastUpdateDate&gt; 9     &lt;inputUpdateDate&gt;2025/10/16 19:44:49&lt;/inputUpdateDate&gt; 10  &lt;/building&gt; 11  &lt;building id="3"&gt; 12    &lt;sort&gt;2&lt;/sort&gt; 13    &lt;name&gt;YDTH&lt;/name&gt; 14    &lt;case&gt;2025/08/14(温湿統一版)_250826外皮無し&lt;/case&gt; 15    &lt;version&gt;3.1.5&lt;/version&gt; 16    &lt;lastUpdateDate&gt;2025/10/21 08:50:49&lt;/lastUpdateDate&gt; 17    &lt;inputUpdateDate&gt;2025/10/01 11:45:44&lt;/inputUpdateDate&gt; 18  &lt;/building&gt; 19 &lt;/repository&gt; </pre> 
	設計ツール 3.1.5	2025/10/21	<p>★25/10/21お問い合わせの続き 設計ツールを指定のバージョン(BEST設計ツール2504 3.1.5 user.zip(2025/5/21更新))に変えまして、物件を読み込み、計算を回しましたが、やはり同じようにエラーが出てしまう状況です。</p> <p>お送りいただいた修正データのみがアメダスでの計算ができて いる状況です(現在計算中で完了はしていない状況ですが…)</p> <p>今後アメダスでの計算の際にはエラーが出続けるのでしょうか。</p> <p>昨日お送りさせていただいたデータを含め、今後比較検討のた めにいくつかのデータを出力することになるため、原因をわかっ ておきたいです。</p> <p>ご確認いただけますと幸いです。</p>	2025/10/23	<p>前回回答させて頂いた内容をご確認願いたします。</p>

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答																																															
23	設計ツール 3.1.5	2025/10/21	<p>★25/10/21お問い合わせの続き 立て続けのご連絡で失礼いたします。 10/20にお送りいただいた修正データでアメダスを選択して出力をいたしました。出力データのエクセルを確認すると気象情報の年月日が2006年となっております。 確認いたしました。DVDの読み込みもしており、出力時にアメダスで香川県高松市を選択しております。</p> <p>こちら6地域での出力のままとなっておりますでしょうか。 合わせてご確認をお願いできればと思います。</p>	2025/10/23	<p>BESTでは、2020年版の標準年気象データに2017年のカレンダーが設定されております。 詳細は、以下のURLにある「BEST-P建築操作マニュアル2024年7月版」p.27の「表2-2. 気象データに応じたカレンダー設定」をご参照ください。</p> <table border="1"> <caption>表 2-2. 気象データに応じたカレンダー設定</caption> <thead> <tr> <th>気象の種類</th> <th>バージョン</th> <th>年</th> <th>曜日</th> <th>祝日<sup>1)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">標準年</td> <td rowspan="5">EA</td> <td>1995年版</td> <td>1999</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2000年版</td> <td>1995</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2010年版</td> <td>2006</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2020年版</td> <td>2017</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2086年版</td> <td>2017</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ArcClimate</td> <td>2020年版</td> <td>2017</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">設計用</td> <td rowspan="3">EA</td> <td>2010年版</td> <td>2006</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2020年版</td> <td>2017</td> <td>月曜</td> </tr> <tr> <td>WEADAC</td> <td>1985</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">実在年</td> <td>EA</td> <td>—</td> <td>気象データに記載の年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>EPW</td> <td>—</td> <td>気象データに記載の年</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 振替休日を含む。 *2 日曜日が始まる閏年ではない最近の年が設定される。</p> <p><a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#specialty">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#specialty</a></p> <p>現在のバージョンでは年表示が「2006」となっていますが、次回のバージョンからは「2017」に変更される予定です。 なお、この変更は計算結果には影響しません。 また、気象データの選択で「拡張アメダス」を指定していただくと、6地域区分ではなく、選択した地点の気象データに基づいて計算されます。</p>	気象の種類	バージョン	年	曜日	祝日 <sup>1)</sup>	標準年	EA	1995年版	1999		2000年版	1995		2010年版	2006		2020年版	2017		2086年版	2017			ArcClimate	2020年版	2017		設計用	EA	2010年版	2006		2020年版	2017	月曜	WEADAC	1985		実在年	EA	—	気象データに記載の年		EPW	—	気象データに記載の年	なし
気象の種類	バージョン	年	曜日	祝日 <sup>1)</sup>																																																
標準年	EA	1995年版	1999																																																	
		2000年版	1995																																																	
		2010年版	2006																																																	
		2020年版	2017																																																	
		2086年版	2017																																																	
	ArcClimate	2020年版	2017																																																	
設計用	EA	2010年版	2006																																																	
		2020年版	2017	月曜																																																
		WEADAC	1985																																																	
実在年	EA	—	気象データに記載の年																																																	
	EPW	—	気象データに記載の年	なし																																																
24	設計ツール 3.1.5	2025/10/23	<p>★25/10/21お問い合わせの続き (1通目) ご返信いただきました内容について教えてください。</p> <p>再度ダウンロードしたバージョンアップ後のソフトにお送りいただいた「相談データ(修正).best」をインポートし、計算いたしました。2006年の気象データ(6地域)での出力となってしまいました。</p> <p>bestWeather フォルダの削除を試みましたが、該当物件のフォルダ「1」(1件のみのインポートなので1のみ存在)の中に「bestWeather」のフォルダが存在しない状況です。 ※BEST設計ツール2504 3.1.5 userフォルダの直下には「bestWeather」フォルダが存在しております。こちらの削除でよろしいのでしょうか。</p> <p>また、やり取りに時間がかかるため、電話での対応をお願いできませんでしょうか。</p> <p>ご確認をお願いいたします。</p>  <p>(2通目) 度々メールで失礼いたします。</p> <p>出力したデータですが、2006年での出力になっていると先ほどのメールでお伝えいたしました。外気温度が変わっているようです。 こちら2006年の記載ですが、気象情報は更新されているのでしょうか。 確認する術がなく、データをお送りいたしますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>以下のURLからファイルをダウンロードできます: <a href="https://download.transfer.hennge.com/Kn_jd7B9PXCKLL">https://download.transfer.hennge.com/Kn_jd7B9PXCKLL</a></p>	2025/10/23	<p>(1通目) お送りした物件データ「相談データ(修正).best」は、既に物件のフォルダの「bestWeather」フォルダを削除したものです。 他にもエラーとなる物件データをお持ちの場合、手動でそちらのフォルダを削除頂ければ計算が可能となります。 ※BEST設計ツール2504 3.1.5 userフォルダの直下の「bestWeather」フォルダはDVDにてソフト(BEST設計ツール)に読み込まれた気象データですので削除しないでください。 ご質問に対する回答につきましては、正確性を保つために委員会にて検討の上、ご返信差し上げております。 お電話での対応は行っておりませんのでご了承ください。</p> <p>(2通目)※再掲 BESTでは、2020年版の標準年気象データに2017年のカレンダーが設定されております。 詳細は、以下のURLにある「BEST-P建築操作マニュアル2024年7月版」p.27の「表2-2. 気象データに応じたカレンダー設定」をご参照ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#specialty">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#specialty</a></p> <p>現在のバージョンでは年表示が「2006」となっていますが、次回のバージョンからは「2017」に変更される予定です。 なお、この変更は計算結果には影響しません。 また、気象データの選択で「拡張アメダス」を指定していただくと、6地域区分ではなく、選択した地点の気象データに基づいて計算されます。</p> <p>—(回答後、訂正メールを送付)— 先日お送りさせて頂いた回答に、一部誤りがありましたので訂正をさせていただきます。 現在リリースしているBEST設計ツールでは、2020年版の標準年気象データを使用しておりますが、カレンダーは2006年を使用しております。(2017年とお伝えしていた内容は誤りでした。) BEST設計ツール(及び省エネ基準対応ツール)で作成している室用途のスケジュールは、2006年のカレンダーをベースに作成されているため、今後のバージョンでも、2006年のカレンダーを使用する予定です。混乱を生じさせてしまい申し訳ございません、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>																																															

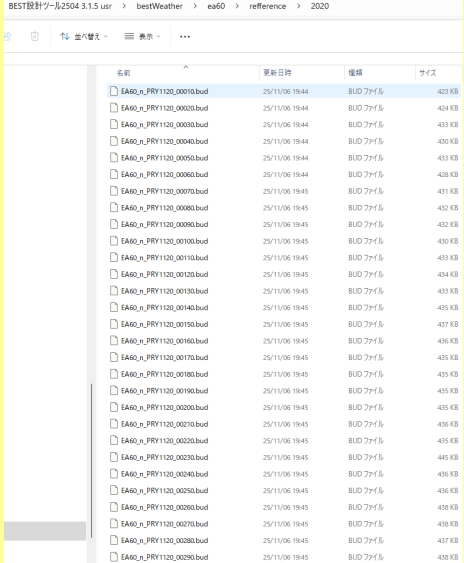
## BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1～26/3/31)

No.	利用Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
25	設計ツール 3.1.5	2025/10/28	カレンダーの件承知いたしました。  ちなみに、6地域で計算をした場合も2006年表記ですが、何年の気象データを使用しているのでしょうか。	2025/10/29	地域区分の気象データは、1995年版の気象データとなっております。下記URLの「BEST設計ツール解説書_操作編(2025年4月版)」「1.2.1 地域区分・建物用途・延床面積」p37の「3) 地域区分」をご覧ください。カレンダーは2006年を使用しています。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a>
26	設計ツール 3.1.5	2025/10/29	ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 設計ツール:3.1.5  建築 = 有 空調 = 有  お問い合わせ内容 = 庇の効果を考慮した場合の窓の日射熱取得率や日射透過率を出力することは可能でしょうか。もし可能な場合は、出力方法や設定手順についてご教示いただけますと幸いです。 何卒よろしくお願いたします。	2025/11/4	BEST設計ツールでは、庇の効果を考慮した場合の窓の日射熱取得率や日射透過率を取得することは出来ません。専門版では、以下の値を得ることはできます。 ・専門版の窓入力画面に、基準入射条件(入射角、プロファイル角ともに30°)のブラインド付きガラスの日射熱取得率や日射透過率が表示されます。 (※↑こちらはBEST設計ツールの[一括編集画面]でも表示されます。) ・BESTとの連携用Radiance外部日除け計算ツールを利用してRadianceを実行すると、時々刻々の日射到達率(外部日除けがないときに対するあるときの外壁・窓面日射量の比率)が出力され、専門版で読込むこともできます。 (Radiance計算ツールは、次回専門版リリース後に公開される予定)
27	設計ツール 3.1.5	2025/11/12	ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 設計ツール:3.1.5  建築 = 有 空調 = 有  お問い合わせ内容 = お世話になっております。現在、建物外皮の庇の有無による冷暖房負荷の違いを検討しています。  庇を設定した場合に冷暖房負荷が変化することを確認しましたが、その原因となる要素を詳細に把握したいと考えています。  庇による影響を確認するには、BESTの出力項目の中でどの数値を見ればよいかご教示いただけますでしょうか。  たびたびのご連絡になり恐縮ですが、ご確認のほどよろしくお願いいたします。	2025/11/18	庇による影響を確認するには、ご確認頂いた通り、冷房熱負荷の変化を確認することになるかと思えます。原因となる要素(例えば、庇によってどれくらい外壁や窓面が日陰になったかなどの情報)の出力はありません。  また、前回回答させて頂いたように、BESTとの連携用Radiance外部日除け計算ツールを利用してRadianceを実行すると、時々刻々の日射到達率(外部日除けがないときに対するあるときの外壁・窓面日射量の比率)が出力され、専門版で読込むことはできます。 (Radiance計算ツールは、次回専門版リリース後に公開される予定です。)
28	BEST設計 ツールv3.1.6	2025/11/14	ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 3.1.6  建築 = 有  お問い合わせ内容 = 現在TRYBEST2021の「2.1.7 専門版に設計ツールで作成したシステムを読み込んでみよう(セントラル)」に取り組んでいるのですが、設計ツールで一次エネルギー消費量を計算してその結果をzip化して専門版に読み込ませる段階で、設計ツールからの結果の出力でフロアの情報がxml形式ではなくhtml形式になっており、専門版に読み込むことができません。TRYBESTではフロア情報はxml形式で出力されており違いが分かりません。改善策を教えてくださいたいです。 よろしくお願いいたします。	2025/11/17	現在のバージョンでは、BEST設計ツールからエンジンデータを直接出力する機能がありますので、そちらをお使いください。 操作方法は、下記URLの「BEST設計ツール解説書 2025年10月版」「1.1.5 エンジンデータ出力」p34～をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a>

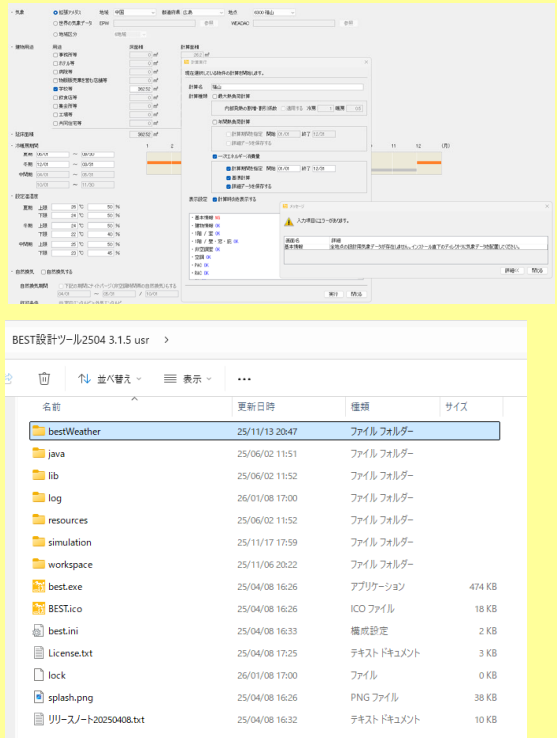
BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1～26/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
29	BEST設計ツールv3.1.5	2025/11/17	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 2504.3.1.5</p> <p>建築 = 有 空調 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 地中冷を利用した水式放射パネル冷房の検討を考えています。 放射パネルへの送水配管を地中へ埋設し、閉鎖配管内に冷媒を循環させるシステムです。 寒冷地での利用、また住宅規模での検討です。 検討内容としては、下記2点です。 ①十分な冷房効果のために必要な地中配管の埋設深さ、埋設長さの検討 ②配管からの放熱による地中温度上昇、またそれによる冷房効果減少の可能性の検討</p> <p>現在、BEST設計版を使用し、A(セントラル熱源群→水熱源ヒートポンプチラー→未利用他→地中熱:クローズドループ方式)とB(アースチューブ)の接続により進めています。上記2点の検討に難儀しています。 他の方法、もしくはBEST専門版の利用により、適した方法があればシステムの構成方法と共に伺いたいです。</p>	2025/11/18	<p>地中熱:クローズドループ方式は、「令和3年4月 国土交通省国土技術政策総合研究所 国立研究開発法人建築研究所 平成 28 年省エネルギー基準(非住宅建築物) 地中熱ヒートポンプの評価方法(タイプの判別方法)」に記載されている方法で、地中熱交換器からの日平均熱源水温度を算出しております。そのため、BESTにて①②の検討は行えません。アースチューブについては、地中温度上昇に関する結果出力は行えませんが、埋設深さや埋設長さを変えることによる熱負荷の変化や、アースチューブの出口温度等を確認することが出来ます。アースチューブの出口温度等を出力するには、下記の手順で実行ください。</p> <p>①[詳細結果出力設定]にて、入口・出口状態及び、アースチューブにチェックを入れて保存する。 ②一次エネルギー計算にて、[詳細データを保存する]にチェックを入れて実行する。 ③計算終了すると、セットアップがあるフォルダ内の[workspace]フォルダ⇒[detail-res]フォルダ⇒該当フォルダ⇒[ene]フォルダ⇒best_result.csv に、アースチューブに関する列が追加されます。</p>  <p>詳細は、下記URLの「BEST設計ツール解説書 2025年10月版」「2.4 詳細データ保存」p194～をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p>
30	設計ツールv3.1.5	2025/11/27	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = BEST設計ツール2504 3.1.5</p> <p>建築 = 有 空調 = 有 電気 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 当初BEST設計ツールver3.1.3に「標準年拡張アメダス気象データ 2020年版」のDVDを読み込んで利用しておりました。最新のver3.1.5を利用するにあたって、再度DVDを読み込んで利用しようとしたところ、計算実行するとエラーとなり困っております。フォルダ内best.exeファイルと同じ並びに「bestWeather」が気象データとも存在するのですが、エラーを解消する方法をご教示いただけませんかでしょうか。</p>	2025/11/28	<p>エラー内容を教えて頂けますでしょうか。 「log」フォルダ内のBestLogging0.logというファイルをお送りください。</p>
31	設計ツールv3.1.5	2025/11/28	<p>ご連絡ありがとうございます。 ご指定いただいたファイルを送付いたします。 広島市の福山で計算実行したく、ご確認よろしくお願いたします。</p> 	2025/12/5	<p>確認いたしました。こちらは、「福山」の設計用気象データが無いことが入力エラーの原因です。 設計用気象データは、デフォルトで50地点利用可能ですが、これ以外の気象データは「EA 設計用気象データ(2020年版)」を別途ご用意いただく必要があります。デフォルト50地点は、下記URLの「BEST設計ツール解説書 操作編(2025年10月版)」の「1.2.2 気象データの取込み 表 1.2.2.1 あらかじめ収録されている設計用気象データの地点(50地点)」p45 をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p> <p>尚、設計用気象データは、「最大熱負荷計算」及び「年間熱負荷計算」を行う際に必要です。 「一次エネルギー消費量」の計算では不要です。</p>

BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1~26/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
32	設計ツール v3.1.5	2025/12/10	<p>★2025/11/28お問い合わせの続き 先日ご回答いただきました内容で確認させていただきたいです。</p> <p>【回答】 確認いたしました。こちらは、「福山」の設計用気象データが無いことが入力エラーの原因です。</p> <p>設計用気象データは、デフォルトで50地点利用可能ですが、これ以外の気象データは「EA 設計用気象データ(2020年版)」を別途ご用意いただく必要があります。デフォルト50地点は、下記URLの「BEST設計ツール解説書_操作編(2025年10月版)」の「1.2.2 気象データの取込み 表 1.2.2.1 あらかじめ収録されている設計用気象データの地点(50地点)」p45 をご覧ください。</p> <p><a href="https://urldefense.com/v3/_https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html*tool_:!w!!J2iG0cdYQnxMGEh0ZjhLAT9Vcpc!aGi7GDxQ0DaTgqi_uVnmm0bD252eDIM4rPffP2wRG9CJDGkur99GYRk8wDVFylzULVfV-y5H8AaA7KCYmUBdlVQNI6FLSMQ\$">https://urldefense.com/v3/_https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html*tool_:!w!!J2iG0cdYQnxMGEh0ZjhLAT9Vcpc!aGi7GDxQ0DaTgqi_uVnmm0bD252eDIM4rPffP2wRG9CJDGkur99GYRk8wDVFylzULVfV-y5H8AaA7KCYmUBdlVQNI6FLSMQ\$</a></p> <p>お問合せさせていただいた以前に標準年EA気象データ2020年版を購入し、操作マニュアルのP42に記載されている方法でプログラムに取り込みを行いました。</p> <p>しかし、福山の気象データで計算を実行するとエラーが発生してしまいます。 気象データは以下の場所に登録済みです。 もし質問の内容が的外れであれば申し訳ありませんが、購入した気象データが使用できない状況は困りますので、ご確認をお願いいたします。</p> 	2025/12/10	<p>標準年EA気象データ2020年版と設計用気象データ2020年版は、別のデータセットです。 「福山」は、デフォルト地点には含まれていないため、気象データを別途ご用意いただく必要があります。 設計用気象データの取り込み方法は、下記URLの「BEST設計ツール解説書_操作編(2025年10月版)」の「1.2.2 気象データの取込み」p44 をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p> <p>標準年EA気象データ2020年版だけの場合、「一次エネルギー消費量」の計算が可能です。 設計用気象データ2020年版だけの場合、「最大熱負荷計算」の計算が可能です。 標準年EA気象データ2020年版と設計用気象データ2020年版の両方がある場合、全ての計算(「一次エネルギー消費量」、「年間熱負荷計算」、「最大熱負荷計算」)が可能です。</p>

## BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1～26/3/31)

No.	利用 Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
33	設計ツール 3.1.5	2026/1/9	<p>★2025/12/10お問い合わせの続き 先日いただいたご回答に対して質問があり、ご連絡させていただきました。</p> <p>標準年EA気象データ2020年版だけの場合、「一次エネルギー消費量」の計算が可能です。 とのことですが、標準年EA気象データ2020年版を取り込んだうえで、「一次エネルギー消費量」の計算実行でエラー(設計用気象データが必要)になります。 「年間熱負荷計算」、「最大熱負荷計算」は選択していませんが、操作に誤りはございますでしょうか。</p> 	2026/1/9	<p>前回の回答でお伝えできていなかった内容がありました。 標準年2020年版の気象データの読み込みを行っている場合、「基準計算」を行う事は出来ません。 計算実行時にこちらのチェックを外していただくと、設計の一次エネルギー計算が可能です。</p> <p>基準計算(※ベースライン計算)は、入力した物件データの仕様を標準的なものに置き換えて計算する仕組みです。その際に、熱源容量を補正するために最大熱負荷計算を行うため、設計用気象データが必要となります。</p> <p>ベースライン計算の具体的な内容は、下記URLの「BEST設計ツール解説書_理論編(2022年5月版)」のp445～「2.3 ベースライン一次エネルギー消費量の計算方法」をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p>
34	設計ツール 3.1.5	2026/2/3	<p>ご使用のOS = Windows 11 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 3.1.5</p> <p>空調 = 有 その他 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = 計算結果_一次エネルギー消費量・ピーク電力計算結果.xls内の建物全体の燃料別集計についてです。 エネルギー消費量(MJ/年)電力・ガス・熱供給があり数値が記載してあります。</p> <p>これらの記載されている一次エネルギー消費量(MJ/年)を実際購入する消費電力量(kwh/年)・二次エネルギー消費量に変換したいです。 bestで使用している一次・二次エネルギー換算係数一覧などあれば提供いただきたいです。</p>	2026/2/4	<p>電力の一次エネルギー換算係数は、9.76 MJ/kWh(=9,760 kJ/kWh)が用いられています。 そのため、一次エネルギー消費量[MJ] ÷ 9.76[MJ/kWh]にて計算可能です。 下記URLの「BEST設計ツール解説書_理論編(2022年5月版)」p294の「2.2.1.1 エネルギー消費量」に解説がございます。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a> 尚、最新版は3.1.6ですのでこちらをお使いください。</p>
35	設計ツール 3.1.6	2026/3/9	<p>ご使用のOS = Windows 10 BESTの種類 = 設計ツール BESTのバージョン = 3.1.6(BEST設計ツール)</p> <p>建築 = 有 空調 = 有 衛生 = 有 電気 = 有</p> <p>お問い合わせ内容 = お世話になっております。</p> <p>基本情報、拡張アメダスについての質問です。 先日まで、中部・愛知・岡崎データが使えたのですが、現在使用出来なくなっております。 地点の変更があったのでしょうか。</p> <p>お忙しいところ恐れ入りますが、ご確認のほどどうぞ宜しくお願いいたします。</p>	2026/3/9	<p>中部・愛知・岡崎のデータにつきましては、デフォルトでご利用いただける気象データではありませんので、利用するには、気象データ(DVD等)の読み込みが必要です。 ※エネルギー計算には「拡張アメダス標準年気象データ」、最大熱負荷計算には「設計用気象データ」、年間熱負荷計算には「拡張アメダス標準年気象データ」と「設計用気象データ」が必要です。</p> <p>先日使用されていたセットアップと、現在のセットアップは同一でしょうか。 もし、物件データをエクスポートされている場合は、計算結果も一緒にエクスポートすることで、以前使用していた気象データを利用することが可能です。 下記URLの「BEST設計ツール解説書_操作編(2025年10月版)」p220頁/約11MB) p23「1.1.3.1 インポート(データファイルの取り込み)」をご覧ください。 <a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#tool</a></p> <p>デフォルトでご利用いただける気象データや読み込み方法は、同解説書のp36～45「1.2.1 地域区分・建物用途・延床面積」をご覧ください。</p> <p>また、ver. 3.1.5(2025/4/8)の更新にて、設計用気象データが2020年版に変更となり、デフォルトで利用可能な気象データは50地点となっております。</p>

## BEST設計ツール/省エネ基準対応ツールお問い合わせリスト(25/4/1～26/3/31)

No.	利用Ver	問い合わせ日	問い合わせ内容	回答日	回答
36	省エネ基準対応ツール	2026/3/16	複数用途計算時、用途毎の結果を出すことは可能でしょうか？WEBPRO計算においては、用途毎の計算結果出力が可能ですが、BESTにおいても可能か確認させていただきたいです。併せて、用途毎の計算結果を出す際の操作方法についてもご教示いただけますと幸いです。	2026/3/9	<p>こちらは、BEST省エネ基準対応ツールに関するお問い合わせという事で宜しいでしょうか。</p> <p>ご使用中のプログラムに関するお問い合わせは、下記URLよりお願い申し上げます。</p> <p><a href="https://www.ibecs.or.jp/best/contact02/contact_frm.php">https://www.ibecs.or.jp/best/contact02/contact_frm.php</a></p> <p>PAL*につきましては、計算終了後に[出力]⇒[計算結果出力]画面にて、PAL*にチェックを入れて出力ボタンをクリック頂ければ室毎の結果を出力できます。</p> <p>出力方法は、下記URLの「BEST省エネ基準対応ツール解説書 操作編(2025年12月版)」p176～「3.6.2 計算結果の出力」をご覧ください。</p> <p><a href="https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#eco">https://www.ibecs.or.jp/best/tec_info.html#eco</a></p> <p>エネルギー計算(BEI)につきましては、建物用途別または室用途別に出力する機能はございません。</p> <p>用途単位で物件を分けて入力し、個別に計算を実行して頂く必要があります。</p> <p>熱源が共通の場合は、用途ごとに案分して入力するなどの方法でご対応ください。</p>